

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業			事業番号	011-288
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④障害のある子どもとその家庭への支援		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2
		寄与するKPI	有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
3	事業開始年度	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法					
5	事業開始年度	令和 2 年度	点検年度	令和 7 年度			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	医療的ケア児等の支援に携わる者、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	医療的ケア児等が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養成するとともに、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制を構築することにより、医療的ケア児等の地域生活支援の向上を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	厚生労働省が示すカリキュラムに基づき、障害児通所支援事業所、保育所、訪問看護ステーション及び学校等において、医療的ケア児等の支援を総合調整する医療的ケア児等コーディネーターを養成するための研修を実施する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制構築					
	当該目標を設定した理由	医療的ケア児等の地域生活支援を向上するためには、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制構築が必要なため。				
	目標に対する実績	医療的ケア児等への支援を総合調整するコーディネーターを関係機関等に配置				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	研修修了人数	人	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標値	—	30	25
			実績値	—	26	
達成率	—	87%				
	当該指標を選定した理由	医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等の連携体制を構築するためには、まず医療的ケア児等への支援に従事できる者を養成する必要があるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	研修受講者募集人数				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	医療的ケア児等コーディネーター養成研修事業	事業番号	011-288
-------	-----------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	0	0	422	803	1,695
13 財源内訳	国支出金	-	-	211	243
	府支出金	-	-	105	105
	市債	-	-		
	その他 (研修受講負担金)	-	-		14
	受益者負担金(使用料、手数料等)	-	-		
一般財源	-	-	106	441	848
14 人件費 (b)	0	0	2,480	8,920	17,240
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	2,902	9,723	18,935

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R2	決算	R3	予算			R2	決算	R3	予算	
16 事業費内訳	謝礼金		586	321				586	321		
			1,164	582				1,164	582		
	事務用備品購入費		195	108				195	108		
			0	0				0	0		
	消耗品費		22	12				22	12		
			74	37				74	37		
通信運搬費		0	0			0	0				
		107	54			107	54				
会場等借上料		0	0			0	0				
		350	175			350	175				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 研修修了人数	人		26
② 上記①にかかる年間経費	千円		9,723
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		373,962
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

- 18 新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予定していた研修は全てオンラインでの研修に変更となったため、準備に係る事務量が増加したこともあり、決算額が当初予算を上回っている。
- 近年医療の進歩で医療的ケア児等の絶対数は増加している。また、病院から地域での生活に移行する医療的ケア児等も増えているが、地域での受け入れ体制は未だ整っておらず、医療的ケア児等への支援に携わったことのある支援者も少ないという現状において、豊富なカリキュラムによる本研修は、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関等との連携体制を構築する人材の育成に資すると考える。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

- 19 本事業は、地域の障害児通所支援事業所、保育所・子ども園及び学校等の職員に医療的ケア児に対する支援を総合調整する医療的ケア児等コーディネーターを養成するための研修を実施するものであり、障害のある子どもとその家族への支援に寄与している。